

事業NO. 701	事業名	「多摩地区水道経営改善基本計画」に基づく 都営水道事業事務委託の解消		(重点管理事業)	水道部
-----------	-----	---------------------------------------	--	----------	-----

評価対象事業名	「多摩地区水道経営改善基本計画」に基づく都営水道事業事務委託の解消		(部課コード)	701	課係名	業務課庶務係																															
	基本計画の掲載		あり	なし	歳出科目	款	-																														
					受託水道会計	事項	-																														
計画事業名	第4部第3・1・5-()-																																				
関連計画・法令	地方自治法(第252条の14) 東京都水道事業の事務の委託に関する規約		補助区分		国	都	市単独																														
事業の目的・概要 目的は対象(何を、誰を対象に)と意図(対象をどういう状態にしたいのか)を、概要は実施手法、手順等を記入																																					
目的	東京都水道局が平成15年6月に策定した「多摩地区水道経営改善基本計画」に基づき、平成15年度から10ヵ年以内に都営水道事業の事務委託方式を解消する。																																				
概要	<p>現在、多摩地区の25市町が東京都水道事業に統合(一元化)されているが、その事業運営は地方自治法第252条の14の規定に基づく事務委託方式で行われている。これにより実質的には市町域ごとに水道事業が運営されており、多摩地区においては都営水道のスケールメリットを生かした広域的・均質的なサービスが展開できていない。こうしたことから、サービスと給水安定性の向上などを図るため、平成15年6月、東京都水道局では、事務委託解消と経営改善による運営方式の抜本的な改革の指針として「多摩地区水道経営改善基本計画」を策定した。</p> <p>この経営改善基本計画を受けて、受託市町においては、平成24年度までの10ヵ年以内に事務委託の解消を完了するための「移行計画」を策定し、年次計画に従って実施することとなった。</p> <p>三鷹市においても、平成15年度中に「移行計画(案)」を策定し、平成16年度に確定、その後、平成17年度から、本計画に沿って事務委託解消に向けた取り組みをすすめることとする。</p>																																				
始期	15	年度から	終期	24	年度まで	当該事務に従事する実職員数	- 人 または - 時間																														
14年度事業評価の結果等を踏まえた、本年度の改善点																																					
今年度の事業・業務量の説明																																					
<p>事務委託の解消にあたり、平成15年度は三鷹市としての基本的な考え方をまとめた上で、事務委託解消の年次計画となる「移行計画」の原案を策定する。</p> <p>計画策定にあたっては、人事担当部局との調整や職員団体との協議を行い、移行を開始してから完了するまでの期間はおおむね3～5年とするとともに、事務委託解消に伴い市民サービスが低下することのないよう、東京都水道局と十分な協議を行う。</p>																																					
今年度のまちづくり指標の説明																																					
事務委託解消に向け、具体的な年次計画となる「移行計画」を策定する必要があるが、本年度はその原案を策定する。																																					
今後「市民満足度」を評価するため、別途調査等を行う必要があるまちづくり指標																																					
他団体の先進的な取り組み事例・成果・参考実績値(コスト比較を含む)																																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度別明細</th> <th>H13年度</th> <th>H14年度</th> <th>H15年度事前</th> <th>H15年度達成</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業・業務量</td> <td></td> <td></td> <td>事務委託解消に向けた「移行計画(案)」の策定</td> <td>事務委託解消に向けた「移行計画(案)」の検討</td> </tr> <tr> <td>まちづくり指標 行政指標 協働指標</td> <td></td> <td></td> <td>「移行計画(案)」の策定</td> <td>「移行計画(案)」の策定には至らなかった。</td> </tr> <tr> <td>予算額(千円)</td> <td></td> <td></td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>決算額(千円)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>執行率(%)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>								年度別明細	H13年度	H14年度	H15年度事前	H15年度達成	事業・業務量			事務委託解消に向けた「移行計画(案)」の策定	事務委託解消に向けた「移行計画(案)」の検討	まちづくり指標 行政指標 協働指標			「移行計画(案)」の策定	「移行計画(案)」の策定には至らなかった。	予算額(千円)			-	-	決算額(千円)				-	執行率(%)				-
年度別明細	H13年度	H14年度	H15年度事前	H15年度達成																																	
事業・業務量			事務委託解消に向けた「移行計画(案)」の策定	事務委託解消に向けた「移行計画(案)」の検討																																	
まちづくり指標 行政指標 協働指標			「移行計画(案)」の策定	「移行計画(案)」の策定には至らなかった。																																	
予算額(千円)			-	-																																	
決算額(千円)				-																																	
執行率(%)				-																																	
年間の実施スケジュール																																					
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																									
当初計画			「多摩地区水道事業経営改善基本計画」の策定(東京都水道局)				・基本的な考え方の整理 ・人事担当部局との調整 ・職員団体との協議 など					「移行計画(案)」の策定																									
結果			「多摩地区水道事業経営改善基本計画」の策定(東京都水道局)				・基本的な考え方の整理 ・人事担当部局との調整 ・他市への視察																														
事業終了後の総括																																					
年度内における移行計画案を策定には至らなかったが、移行にあたって市民サービスの低下を招くことのないよう十分な検討を行っており、平成16年度の早い時期において原案を作成できるよう作業をすすめている。																																					

事業NO. 701	事業名	「多摩地区水道経営改善基本計画」に基づく 都営水道事業事務委託の解消	(重点管理事業)	水道部
-----------	-----	---------------------------------------	----------	-----

(事業の中間評価)

現状の課題と次年度の改善方向				
本年度策定する「移行計画(案)」をもとに、平成16年度には三鷹市としての「移行計画」を確定させる。確定にあたっては、東京都水道局との調整を図り、市民サービスが低下することのないように留意する必要がある。				
中間 評価	主管課中間評価		(次年度事業の方向性及び説明[上半期の成果、成果向上余地、コスト削減余地などの観点を踏まえて])	
	項目		総 括 説 明	現在、平成16年度中の「移行計画」の確定に向けて原案策定に着手したところであるが、下半期においては、庁内における関係部局との調整を図るとともに、今後予定されている事業量なども勘案しながら、人員削減の具体的な数値化を行い、年度内に原案を策定する。平成16年度は原案をもとに計画を確定させるが、事務委託解消にあたっては、引き続き市民サービスの向上を図ることを、都水道局に対して求めていくこととする。
	コスト面			
	成果面			
	総合評価			
			委託の可能性 有(無) (理由)	
	改善提案に対する事業評価審査会の意見・評価			
		妥当である	意 見	総務部と十分調整する必要がある。
		改善の余地あり		
		抜本的見直し必要		
改善提案に対する政策会議の意見・評価				
予算編成で全体調整する。 なお、市民サービスの低下を招くことのないよう、サービス内容を担保する協定等の締結を検討すること。				

(事業の事後評価)

事後評価	主管課評価	進捗状況評価	3	計画どおり<計画以上進捗を含む>・ ほぼ計画どおり・ 計画どおり進んでいない
		理由	移行計画案の作成について、市民サービスの低下を招かないための方策を検討するにあたり、東京都水道局からの詳細な情報提供を受けるとともに、部内係長以上の職員による検討委員会を設置し、十分な議論を行うことにしたこと。また平成16年度から移行を開始する武蔵村山市への視察を行い、先行市における実績等を見極めることとした等の理由から、当初の計画より若干の遅れが生じ、年度内における移行計画案の作成に至らなかった。	
		成果に対する評価	3	大・ 中・ 小又はなし
		理由	計画どおりの原案作成には至らなかったが、部内における検討において内容の濃い議論を行っていることや先行市からのさまざまな情報を収集できたことは、平成15年度の大きな収穫となった。	
		効率性・経済性に対する評価	2	高・ 中・ 低（コスト削減した場合は、その取り組みを理由に記載すること）
	審査会評価	理由	当初の計画どおりに移行計画案の作成には至らなかったが、その過程において十分な議論・検討がなされていることについては、それなりに評価できるものと考えている。	
		総合評価及び次年度の実施方針	現在、移行時期などを中心に部内において十分な議論のもと原案の作成を進めており、5月下旬には理事者への協議を予定している。その後、この結果を受けて、各関係部局等との協議、並びに東京都水道局との調整を行い、平成16年度中に三鷹市としての移行計画を確定する。	
		進捗状況評価	3	計画どおり<計画以上進捗を含む>・ ほぼ計画どおり・ 計画どおり進んでいない
		理由		
		成果に対する評価	3	大・ 中・ 小又はなし
総合評価	理由			
	効率性・経済性に対する評価	2	高・ 中・ 低	
	理由			
総合評価		計画の策定に当たっては、広域化によるメリットを十分に考慮し、今まで以上にサービスの向上を図ることを念頭に置き検討することが望ましい。 また、計画策定にあたっては、職員課など関係各部課との十分な協議・調整を図る必要がある。		

事業NO.702	事業名	石綿セメント管管種変更工事	(重点管理事業)	水道部
----------	-----	---------------	----------	-----

評価対象事業名	石綿セメント管管種変更工事			(部課コード)	702	課係名	工務課工務係																																					
							内線		3436																																			
		基本計画の掲載	あり	なし	歳出科目	款	1受託水道事業費	項	1水道管理費 目 2配水費																																			
計画事業名	第4部第3・3-(1)- 石綿セメント管の管種変更				受託水道会計	事項	3 配水事業費																																					
関連計画・法令 水道法、東京都給水条例、同条例施行規程					補助区分		国	都	市単独																																			
事業の目的・概要 目的は対象(何を、誰を対象に)と意図(対象をどういう状態にしたいのか)を、概要は実施手法、手順等を記入																																												
目的	震災時に市民への給水を確保するため、耐震強度の劣る石綿セメント管の管種変更を進める。																																											
概要	耐震強度が劣る石綿セメント管の配水管を、より強度の高いダクタイル鋳鉄管へと布設替える。																																											
始期	13	年度から	終期	17	年度まで	当該事務に従事する実職員数		5.6 人																																				
14年度事業評価の結果等を踏まえ、本年度の改善点 事業執行の遅れが生じないよう、前年度(平成14年度)中に準備を進めた。																																												
今年度の事業・業務量の説明 14,540mを計画延長とする。 (平成15年度より、予算額及び決算額に消火栓工事費を含めないものとする。)																																												
今年度のまちづくり指標の説明 平成17年度の完了を目指し、今年度末の残存率5.55%を目標とする。																																												
今後「市民満足度」を評価するため、別途調査等を行う必要があるまちづくり指標																																												
他団体の先進的な取り組み事例・成果・参考実績値 (コスト比較を含む)																																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度別明細</th><th>H13年度</th><th>H14年度</th><th>H15年度事前</th><th>H15年度達成</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業・業務量</td><td>実施延長 14,521m</td><td>実施延長 14,780m</td><td>計画延長 14,540m</td><td>実施延長 14,556.9m</td></tr> <tr> <td>まちづくり指標</td><td>残存率 15.00%</td><td>残存率 10.28%</td><td>残存率 5.55%</td><td>残存率 5.54%</td></tr> <tr> <td>行政指標 協働指標</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>予算額(千円)</td><td>637,529</td><td>1,266,129</td><td>1,196,650</td><td>979,200</td></tr> <tr> <td>決算額(千円)</td><td>630,819</td><td>881,543</td><td></td><td>974,595</td></tr> <tr> <td>執行率(%)</td><td>98.9</td><td>69.6</td><td></td><td>99.5</td></tr> </tbody> </table>										年度別明細	H13年度	H14年度	H15年度事前	H15年度達成	事業・業務量	実施延長 14,521m	実施延長 14,780m	計画延長 14,540m	実施延長 14,556.9m	まちづくり指標	残存率 15.00%	残存率 10.28%	残存率 5.55%	残存率 5.54%	行政指標 協働指標					予算額(千円)	637,529	1,266,129	1,196,650	979,200	決算額(千円)	630,819	881,543		974,595	執行率(%)	98.9	69.6		99.5
年度別明細	H13年度	H14年度	H15年度事前	H15年度達成																																								
事業・業務量	実施延長 14,521m	実施延長 14,780m	計画延長 14,540m	実施延長 14,556.9m																																								
まちづくり指標	残存率 15.00%	残存率 10.28%	残存率 5.55%	残存率 5.54%																																								
行政指標 協働指標																																												
予算額(千円)	637,529	1,266,129	1,196,650	979,200																																								
決算額(千円)	630,819	881,543		974,595																																								
執行率(%)	98.9	69.6		99.5																																								
年間の実施スケジュール																																												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																
当初計画						設計・施工期間																																						
										次年度設計と準備期間																																		
結果						設計・施工期間																																						
事業終了後の総括 前年度から設計準備を実施したことにより、スムーズな事業執行を図ることができ、当初予定事業量(計画延長)を上回って実施することができた。当初の施工予定期間をオーバーしたのは、他企業工事等の影響であり、今後は、より密接な調整を行っていきたい。																																												

事業NO. 702	事業名	石綿セメント管管種変更工事	(重点管理事業)	水道部
-----------	-----	---------------	----------	-----

(事業の中間評価)

現状の課題と次年度の改善方向				
事業執行が遅れないよう、前年度(平成14年度)より準備をすすめた。平成16年度についても今年度より準備を進め、早期執行に努めたい。				
中 間 評 価	主管課中間評価		(次年度事業の方向性及び説明[上半期の成果、成果向上余地、コスト削減余地などの観点を踏まえて])	
	項 目		東京都水道局にて定める、基準、単価等により設計積算するため独自にコストを削減するのは難しい。成果面では、石綿セメント管残存率減少に伴い配水圧を上げることにより、三階建までの直結直圧給水や中高層建物への直結増圧給水が可能な地域が増大している。	
	コスト面	減少		
	成果面	維持		
	総合評価	D	委託の可能性 有(無)(理由) 入札による請負工事のため	
	第2水準			
評 価	改善提案に対する事業評価審査会の意見・評価			
		妥当である	意見	
		改善の余地あり		
		抜本的見直し必要		
改善提案に対する政策会議の意見・評価				
予算編成で全体調整する。				

(事業の事後評価)

事 後 評 価	主 管 課 評 価	進捗状況評価	1	計画どおり<計画以上進捗を含む>・ ほぼ計画どおり・ 計画どおり進んでいない
		理由		事業執行が遅れないよう、前年度(平成14年度)から設計等の準備を進めたことにより、早期執行を図ることができた。
		成果に対する評価	1	大・ 中・ 小又はなし
		理由		震災時に市民への安定した給水を確保するため、耐震強度の劣る石綿セメント管の管種変更を進めることにより市民サービスの向上を図ることができた。
		効率性・経済性に対する評価	1	高・ 中・ 低 (コスト削減した場合は、その取り組みを理由に記載すること)
	審 査 会 評 価	理由		前年度よりの設計準備を実施することにより、大規模な管種変更工事をスムーズに完成させることができた。また、大型機械の導入や浅層埋設によりコストの削減を図ることができた。
		総合評価及び次年度の実施方針		
		現在石綿セメント管の残存率は5.54%と計画通り推進しているが、平成15年度については難易度の高い路線が多く工事についても各所で苦慮した。しかし、市民等の協力により目標を達成することができた。平成16年度については、私道や都道等のより難易度の高い路線となるので、早期、設計及び発注により目標を達成する。		
		進捗状況評価	2	計画どおり<計画以上進捗を含む>・ ほぼ計画どおり・ 計画どおり進んでいない
		理由		次年度の設計等の準備を早期に着手していることは評価できるが、本年度の施工期間について、1月程の延長を行っている。
		成果に対する評価	1	大・ 中・ 小又はなし
	評 価	効率性・経済性に対する評価	1	高・ 中・ 低
		理由		平成17年度の完成をめざし、引き続きコスト縮減等に意を用いながら、計画に沿った石綿セメント管の管種変更を進めることが望まれる。

事業NO. 703	事業名	水中ポンプ取替工事	部内管理事業	水道部
-----------	-----	-----------	--------	-----

評価対象事業名	水中ポンプ取替工事				(部課コード)	702	課係名	工務課配水係																																	
								内線		3441																															
		基本計画の掲載	あり	なし	歳出科目	款	1.受託水道事業費	項	2.建設改良費	目	1.原浄水施設費																														
計画事業名	第4部第3・1-(1)- 深井戸の適正な維持管理				受託水道会計	事項	1. 原浄水施設事業費																																		
関連計画・法令	水道法、東京都給水条例、同条例施行規程				補助区分		国		都		市単独																														
事業の目的・概要 目的は対象(何を、誰を対象に)と意図(対象をどういう状態にしたいのか)を、概要は実施手法、手順等を記入																																									
目的	市内39箇所の水源井それぞれの井戸に適した揚水量及び水質等にあった水中ポンプ、モータの取替を行い、地下水を主とする水道の安定供給と地盤沈下等の環境問題に寄与する。																																								
概要	三鷹市の水道水の約6割にあたる自己水源である深井戸の揚水量を維持するため、経年劣化等により能力が低下した水中ポンプ、モータを順次取り替える。																																								
始期	年度から		終期	年度まで		当該事務に従事する実職員数	0.5 人 または 0.0 時間																																		
14年度事業評価の結果等を踏まえた、本年度の改善点 水中ポンプ取替工事の水源選定について、更生工事実施予定水源及び使用年数等を考慮し、各々水源井に適した水中ポンプ、モータの材質、性能を決定し、安定揚水を図ることとした。																																									
今年度の事業・業務量の説明 4箇所の水源井																																									
今年度のまちづくり指標の説明 地下水と都水の現状割合を維持するために、各々水源井に適した水中ポンプを設置し、市民への安全でおいしい水を供給する。																																									
今後「市民満足度」を評価するため、別途調査等を行う必要があるまちづくり指標																																									
他団体の先進的な取り組み事例・成果・参考実績値（コスト比較を含む）																																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度別明細</th><th>H13年度</th><th>H14年度</th><th>H15年度事前</th><th>H15年度達成</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業・業務量</td><td>実施水源井 16水源 20水源 38水源</td><td>実施水源井 牟礼5号、三鷹北野5号、三鷹中原3号、上連雀7号、野崎2号水源</td><td>計画水源井 上連雀1号水源 牟礼1号水源 牟礼2号水源 牟礼4号水源</td><td>実施水源井 上連雀1号水源 北野2号水源 牟礼1号水源 牟礼4号水源</td></tr> <tr> <td>まちづくり指標 行政指標 協働指標</td><td></td><td></td><td>計画水源井4箇所の揚水量維持</td><td>計画水源井4箇所の揚水量維持</td></tr> <tr> <td>予算額(千円)</td><td>16,170</td><td>29,400</td><td>26,355</td><td>26,355</td></tr> <tr> <td>決算額(千円)</td><td>10,185</td><td>25,935</td><td></td><td>17,640</td></tr> <tr> <td>執行率(%)</td><td>63.0</td><td>88.2</td><td></td><td>66.9</td></tr> </tbody> </table>												年度別明細	H13年度	H14年度	H15年度事前	H15年度達成	事業・業務量	実施水源井 16水源 20水源 38水源	実施水源井 牟礼5号、三鷹北野5号、三鷹中原3号、上連雀7号、野崎2号水源	計画水源井 上連雀1号水源 牟礼1号水源 牟礼2号水源 牟礼4号水源	実施水源井 上連雀1号水源 北野2号水源 牟礼1号水源 牟礼4号水源	まちづくり指標 行政指標 協働指標			計画水源井4箇所の揚水量維持	計画水源井4箇所の揚水量維持	予算額(千円)	16,170	29,400	26,355	26,355	決算額(千円)	10,185	25,935		17,640	執行率(%)	63.0	88.2		66.9
年度別明細	H13年度	H14年度	H15年度事前	H15年度達成																																					
事業・業務量	実施水源井 16水源 20水源 38水源	実施水源井 牟礼5号、三鷹北野5号、三鷹中原3号、上連雀7号、野崎2号水源	計画水源井 上連雀1号水源 牟礼1号水源 牟礼2号水源 牟礼4号水源	実施水源井 上連雀1号水源 北野2号水源 牟礼1号水源 牟礼4号水源																																					
まちづくり指標 行政指標 協働指標			計画水源井4箇所の揚水量維持	計画水源井4箇所の揚水量維持																																					
予算額(千円)	16,170	29,400	26,355	26,355																																					
決算額(千円)	10,185	25,935		17,640																																					
執行率(%)	63.0	88.2		66.9																																					
年間の実施スケジュール																																									
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																													
当初計画																																									
結果																																									
事業終了後の総括 当初8月後半からの実施を予定していたが、関係機関との調整により更生工事の実施経過による自然水位の回復を参考にポンプ性能の選定を行った為、実施時期が遅れたがいずれも当初の事業目的を達成している。																																									

事業NO. 703	事業名	水中ポンプ取替工事	部内管理事業	水道部
-----------	-----	-----------	--------	-----

(事業の中間評価)

現状の課題と次年度の改善方向

水源井更生工事後の施工は、現状のデータがありポンプ能力の的確な選定が行えるが単独工事の場合は、現状を経験で把握し、実施している。

中 間 評 価	主管課中間評価		総 括 説 明	(次年度事業の方向性及び説明[上半期の成果、成果向上余地、コスト節減余地などの観点を踏まえて]) 毎年4台の新品水中ポンプの取替工事を予定しているが、ポンプ容量により金額は増減する。	
	項 目				
	コスト面	減少			
	成果面	維持			
	総合評価	D			
		第2水準			
				委託の可能性 無(理由) 老朽化した井戸それぞれの特徴を把握した経験が必要。	
	改善提案に対する事業評価審査会の意見・評価				
		妥当である		意 見	今後とも、地下水の確保が図られるよう、必要な施設の維持管理及び更生を東京都に要請 することが必要である。
		改善の余地あり			
	抜本的見直し必要				
改善提案に対する政策会議の意見・評価					
予算編成で全体調整する。					

(事業の事後評価)

主 管 課 事 後 評 価 審 査 会	主 管 課 評 価	進捗状況評価	1	計画どおり<計画以上進捗を含む>・ ほぼ計画どおり・ 計画どおり進んでいない
		理由		当初の計画どおり水源井4箇所の中水ポンプモータ取替が完了した。
		成果に対する評価	1	大・ 中・ 小又はなし
		理由		各水源井の安定揚水が可能になった。
	事後評価	効率性・経済性に対する評価	2	高・ 中・ 低 (コスト削減した場合は、その取り組みを理由に記載すること)
		理由		水中ポンプモータの能力低下による揚水量の減少が、本工事実施により若干の増量と余力ある安定揚水が可能になった。
		総合評価及び次年度の実施方針		安定揚水による水道水6割の自己水維持を目指す。
	審査会評価	進捗状況評価	1	計画どおり<計画以上進捗を含む>・ ほぼ計画どおり・ 計画どおり進んでいない
		理由		
		成果に対する評価	1	大・ 中・ 小又はなし
		理由		
	事後評価	効率性・経済性に対する評価	2	高・ 中・ 低
		理由		
	総合評価			自己水源である地下水を確保するため、引き続き、適切な調査を行うとともに施設整備を進める必要がある。

事業NO. 704	事業名	水源井更生工事	部内管理事業	水道部
-----------	-----	---------	--------	-----

評価対象 事業名	水源井更生工事			(部課コード)	702	課係名	工務課配水係																																		
							内線 3441																																		
		基本計画の掲載	あり	なし	歳出科目	款	1.受託水道事業費	項	1.水道管理費	目	1.浄水費																														
計画事業名	第4部第3・1-(1)- 深井戸の適正な維持管理				受託水道会計	事項	3.浄水事業費																																		
関連計画・法令	水道法、東京都給水条例、同条例施工規則				補助区分		国		都		市単独																														
事業の目的・概要 目的は対象(何を、誰を対象に)と意図(対象をどういう状態にしたいのか)を、概要は実施手法、手順等を記入																																									
目的	市内39箇所の水源井内の活性化を図るとともに、各々水源井の適性揚水により地下水を主とする水道水の安定供給と過剰揚水による地盤沈下等の環境問題に寄与する。																																								
概要	三鷹市の水道水の約6割にあたる自己水源である深井戸の揚水量を維持するため、目詰まり等により揚水量が減少した水源井の更生工事を行う。																																								
始期	年度から		終期	年度まで		当該事務に従事する実職員数			0.5 人 または 0.0 時間																																
14年度事業評価の結果等を踏まえた、本年度の改善点 更生工事実施水源の選定については、水源井の現状、及び水中ポンプの取替時期等を考慮した担当者間のいっそうの情報交換を行い、適正揚水量の増量、工事費の削減を図る。																																									
今年度の事業・業務量の説明 2箇所の水源井																																									
今年度のまちづくり指標の説明 地下水と都水との現状割合維持するために、各々水源井に適した水中ポンプを設置し、市民へ安全でおいしい水を供給する。																																									
今後「市民満足度」を評価するため、別途調査等を行う必要があるまちづくり指標																																									
他団体の先進的な取り組み事例・成果・参考実績値（コスト比較を含む）																																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度別明細</th><th>H13年度</th><th>H14年度</th><th>H15年度事前</th><th>H15年度達成</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業・業務量</td><td>実施水源井 20水源 38水源 16水源</td><td>実施水源井 上連雀7号水源 牟礼5号水源</td><td>計画水源井 三鷹北野2号水源 三鷹北野8号水源</td><td>実施水源井 三鷹北野2号水源 三鷹北野8号水源</td></tr> <tr> <td>まちづくり指標 行政指標 協働指標</td><td></td><td></td><td>計画水源井2箇所の 揚水量の維持</td><td>計画水源井2箇所の 揚水量の維持</td></tr> <tr> <td>予算額(千円)</td><td>14,200</td><td>6,060</td><td>8,820</td><td>8,820</td></tr> <tr> <td>決算額(千円)</td><td>13,230</td><td>5,460</td><td></td><td>7,350</td></tr> <tr> <td>執行率(%)</td><td>93.2</td><td>90.1</td><td></td><td>83.3</td></tr> </tbody> </table>												年度別明細	H13年度	H14年度	H15年度事前	H15年度達成	事業・業務量	実施水源井 20水源 38水源 16水源	実施水源井 上連雀7号水源 牟礼5号水源	計画水源井 三鷹北野2号水源 三鷹北野8号水源	実施水源井 三鷹北野2号水源 三鷹北野8号水源	まちづくり指標 行政指標 協働指標			計画水源井2箇所の 揚水量の維持	計画水源井2箇所の 揚水量の維持	予算額(千円)	14,200	6,060	8,820	8,820	決算額(千円)	13,230	5,460		7,350	執行率(%)	93.2	90.1		83.3
年度別明細	H13年度	H14年度	H15年度事前	H15年度達成																																					
事業・業務量	実施水源井 20水源 38水源 16水源	実施水源井 上連雀7号水源 牟礼5号水源	計画水源井 三鷹北野2号水源 三鷹北野8号水源	実施水源井 三鷹北野2号水源 三鷹北野8号水源																																					
まちづくり指標 行政指標 協働指標			計画水源井2箇所の 揚水量の維持	計画水源井2箇所の 揚水量の維持																																					
予算額(千円)	14,200	6,060	8,820	8,820																																					
決算額(千円)	13,230	5,460		7,350																																					
執行率(%)	93.2	90.1		83.3																																					
年間の実施スケジュール																																									
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																													
当初計画				← 設計施工期間 →																																					
結果				← 計画工事 →																																					
事業終了後の総括 昭和39年と48年にさく井した井戸の集水用ストレーナが目詰まり等を解消したことにより、自然水位、揚水水位が回復し、安定揚水量を確保することができた。																																									

事業NO. 704	事業名	水源井更生工事	部内管理事業	水道部
-----------	-----	---------	--------	-----

(事業の中間評価)

現状の課題と次年度の改善方向				
自己水源用として深井戸を掘って30～40年が経過し、老朽化していく井戸ケーシング、ストレーナの維持管理及び更生工事箇所を増やし、適正揚水による自己水を確保する。				
中 間 評 価	主管課中間評価		(次年度事業の方向性及び説明[上半期の成果、成果向上余地、コスト節減余地などの観点を踏まえて]) 関係機関との調整により、使用期間の短い既設水中ポンプ・モータのオーバーホールを本工事に含めたために増額。	
	項 目			
	コスト面	増加		
	成果面	拡大		
	総合評価	第3水準	委託の可能性 無(理由) 老朽化した井戸それぞれの特徴を把握した経験が必要。	
評 価	改善提案に対する事業評価審査会の意見・評価			
		妥当である	意見	
		改善の余地あり		
		抜本的見直し必要		
	改善提案に対する政策会議の意見・評価			
	予算編成で全体調整する。			

(事業の事後評価)

主 管 課 評 価 事 後 評 価 審 査 会 評 価	主 管 課 評 価	進捗状況評価	1	計画どおり<計画以上進捗を含む>・ ほぼ計画どおり・ 計画どおり進んでいない
		理由		施工期間も短く当初の計画どおり水源井2箇所の更生が完了した。
		成果に対する評価	1	大・ 中・ 小又はなし
		理由		揚水水位が回復し、増量による地下水の安定揚水が可能になり、当初の成果目標を達成することができた。
	事 後 評 価	効率性・経済性に対する評価	2	高・ 中・ 低 (コスト削減した場合は、その取り組みを理由に記載すること)
		理由		東京都水道局との一元化により、都水を購入することがなくなり経済性についての評価は低い、自己水6割の維持についての効率性は評価できる。
		総合評価及び次年度の実施方針		自己水源である深井戸の目詰まりが解消し、揚水量増により地下水を主とする水道水の安定供給が可能になった。
		進捗状況評価	1	計画どおり<計画以上進捗を含む>・ ほぼ計画どおり・ 計画どおり進んでいない
	審 査 会 評 価	理由		
		成果に対する評価	1	大・ 中・ 小又はなし
		理由		
		効率性・経済性に対する評価	2	高・ 中・ 低
	評 価	理由		
		総合評価		自己水源である地下水を確保するため、引き続き、適切な管理・更生工事に努める必要がある。

事業NO. 705	事業名	配水管新設等工事	部内管理事業	水道部
-----------	-----	----------	--------	-----

評価対象事業名	配水管新設等工事	(部課コード)	702	課係名	工務課 工務係
					内線 3436
		基本計画の掲載	あり	なし	
計画事業名	第4部第3・1-(3)-配水管網の整備	歳出科目	款	1.受託水道事業費	項 2.建設改良費 目 2.配水施設費
関連計画・法令	水道法、東京都給水条例、同条例施行規程	受託水道会計	事項	2.配水施設事業費	
		補助区分	国	都	市単独

事業の目的・概要 目的は対象(何を、誰を対象に)と意図(対象をどういう状態にしたいのか)を、概要は実施手法、手順等を記入
市民のために、より効率的な配水管網整備を目的とし、配水管の新設・増径等工事を実施する。

目的	石綿セメント管管種変更工事に合せ、近接した配水管未布設箇所への布設を進める。また、都市計画等の進捗に合せ配水管の新設、増径等工事を行う。
概要	

始期 単年度 年度から 終期 年度まで 当該事務に従事する実職員数 0.7 人

14年度事業評価の結果等を踏まえた、本年度の改善点
前年度に引き続き、市民サービスの向上に向け配水管網の整備を進める。

今年度の事業・業務量の説明
計画延長 2,280m
(平成15年度より、予算額及び決算額に消火栓工事費を含めないものとする。)

今年度のまちづくり指標の説明
より効率的な配水管網の整備をすすめ、市民サービスの向上を図る。

今後「市民満足度」を評価するため、別途調査等を行う必要があるまちづくり指標
他団体の先進的な取り組み事例・成果・参考実績値 (コスト比較を含む)

年度別明細	H13年度	H14年度	H15年度事前	H15年度達成
事業・業務量	実施延長 2,238m	実施延長 2,127m	計画延長 2,280m	実施延長 2537.0m
まちづくり指標 行政指標 協働指標		より効率的な配水管網の整備が図れた	より効率的な配水管網の整備を図る	より効率的な配水管網の整備が図れた
予算額(千円)	118,871	149,415	177,800	148,000
決算額(千円)	102,824	119,829		143,411
執行率(%)	86.5	80.2		96.9

年間の実施スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
当初計画						設計・施工期間					次年度設計と準備期間	
結果						設計・施工期間				次年度設計と準備期間		

事業終了後の総括
前年度から設計準備を実施したことにより、スムーズな事業執行を図ることができ、当初予定事業量(計画延長)を上回って実施することができた。当初の施工予定期間をオーバーしたのは、他企業工事等の影響であり、今後は、より密接な調整を行っていきたい。

《事業の中間評価》

事業執行が遅れないよう、前年度(平成14年度)より準備を進めた。平成16年度についても今年度より準備を進め、早期執行に努めたい。

《事業の事後評価》199

事業NO. 706	事業名	水抜型丙止水栓取替工事	部内管理事業	水道部
-----------	-----	-------------	--------	-----

評価対象事業名	水抜型丙止水栓取替工事	(部課コード)	702	課係名	工務課漏水防止係
					内線 3934
	基本計画の掲載	あり	なし	歳出科目	款 1.受託水道事業費 項 1.水道管理費 目 3.給水費
計画事業名	第 4部第3・2-(1)-2	受託水道会計	事項	3.給水事業費	
関連計画・法令		補助区分	国	都	市単独
事業の目的・概要	目的は対象(何を、誰を対象に)と意図(対象をどういう状態にしたいのか)を、概要は実施手法、手順等を記入				
目的	旧型の水抜型丙止水栓は、漏水が多いため東京都が採用しているA型バルブに取り替え、漏水防止効果の向上を図る。				
概要	平成15年度から平成22年度までの8年計画の初年度として、水抜型丙止水栓口径・20mmを550箇所、25mmを110箇所、請負工事で取替える。				
始期	15	年度から	終期	22	年度まで
14年度事業評価の結果等を踏まえた、本年度の改善点		当該事務に従事する実職員数		0.2 人	または 0.0 時間

今年度の事業・業務量の説明

口径20mm取替 550箇所
口径25mm取替 110箇所

今年度のまちづくり指標の説明

旧型の水抜型丙止水栓は現在5,295箇所あり、660箇所の取替を施工することにより、漏水件数の減少を目指し取替達成率を12.5%にする。

今後「市民満足度」を評価するため、別途調査等を行う必要があるまちづくり指標

他団体の先進的な取り組み事例・成果・参考実績値（コスト比較を含む）

年度別明細	H 13年度	H 14年度	H 15年度事前	H 15年度達成
事業・業務量			20mm取替 550箇所 25mm取替 110箇所	20mm取替 720箇所 25mm取替 140箇所
まちづくり指標 行政指標 協働指標			平成15年度に660箇所の取替を施工することにより、漏水件数の減少を目指し、取替達成率を12.5%にする。	平成15年度に860箇所の取替を施工することができ、漏水件数の減少を目指し取替達成率を16.2%にすることができた。
予算額(千円)			31,763	31,763
決算額(千円)				31,616
執行率(%)				99.5

年間の実施スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
当初計画					←		水抜型丙止水栓取替				→	
結果					←		水抜型丙止水栓取替				→	

事業終了後の総括

平成15年度は、当初計画では660箇所の取替を平成16年2月末までの工期で施工することとしていたが、その後200箇所の取替工事を追加したため工期が平成16年3月15日までとなった。しかし、当初予定数を大幅に上回り、取替率を上げることができた。

事業NO. 706	事業名	水抜型丙止水栓取替工事	部内管理事業	水道部
-----------	-----	-------------	--------	-----

(事業の中間評価)

現状の課題と次年度の改善方向				
工事内容を説明し工事の協力を得るために訪問しても留守宅があり、施工内容の説明ができず、施工了解も得られないことがあり、留守宅との連絡確保が課題である。そこで帰宅後に連絡をしてもらうため協力依頼のビラを配布する。				
中 間 評 価	主管課中間評価		(次年度事業の方向性及び説明[上半期の成果、成果向上余地、コスト節減余地などの観点を踏まえて])	
	項 目		総 括 説 明	平成15年度より計画的に毎年660箇所ずつ取替え完全に施工できるように目指す。平成17年度以降は15年度設計実績により工事費を減した。
	コスト面	維持		
	成果面	維持		
	総合評価	第3水準		
			委託の可能性 有(無) (理由)	
評 価	改善提案に対する事業評価審査会の意見・評価			
		妥当である	意 見	
		改善の余地あり		
		抜本的見直し必要		
	改善提案に対する政策会議の意見・評価			
	予算編成で全体調整する。			

(事業の事後評価)

事 後 評 価	主 管 課 評 価	進捗状況評価	1	計画どおり<計画以上進捗を含む>・ ほぼ計画どおり・ 計画どおり進んでいない
		理由		平成15年度は、660箇所の取替を予定していたが860箇所の取替を施工できた。
		成果に対する評価	1	大・ 中・ 小又はなし
		理由		当初計画より200箇所多く取替ができたため、取替率を12.5%から16.2%に伸ばすことができた。
		効率性・経済性に対する評価	1	高・ 中・ 低 (コスト削減した場合は、その取り組みを理由に記載すること)
		理由		4社に分けて発注したため、工期を短縮することが出来た。
	審 査 会 評 価	総合評価及び次年度の実施方針		
		理由		当初計画が100%達成され、さらに計画より200箇所多く取替が出来た。次年度も660箇所の完全取替を目指す。
		進捗状況評価	1	計画どおり<計画以上進捗を含む>・ ほぼ計画どおり・ 計画どおり進んでいない
		理由		3月中旬への工期の延長は、取替え箇所の追加によるものと認められる。
		成果に対する評価	1	大・ 中・ 小又はなし
		理由		
	総 合 評 価	効率性・経済性に対する評価	1	高・ 中・ 低
		理由		
	総合評価			市民サービスの向上に向けて、コスト縮減、事業の効率化等に工夫を凝らしながら、地道に取り組むことが望まれる。